

教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

学年の目標

・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点

月	内容のまとめり	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	開国と近代国家の歩み	明治維新 日清・日露戦争と近代産業	・明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ・立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ・我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	・日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。 ・各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べている。	・議会政治の始まりと国際社会のとの関り、近代産業の発展と近代文化の形成について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
5	二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と日本 大正デモクラシーの時代 世界恐慌と中国との戦争	・二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。 ・二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身につけている。 ・表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。 ・写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。	・各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べている。 ・日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。	・二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。 ・戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとしている。
6	二度の世界大戦と日本 現代の日本と世界	第二次世界大戦と日本 平和と民主化への動き 国際化する世界と日本	・第二次世界大戦後に行われた日本の諸改革により、日本はどのように再建を遂げていったのかを、苦しい状況の中、男女普通選挙の確立や、日本国憲法などを制定し民主化政策を進め、冷戦の中、国際社会の復帰を果たしたことなどを基に理解している。 ・現代の日本の役割が国際社会で大きくなってきたことを、高度経済成長や沖縄返還などの国際社会との関わりの深まり、冷戦終結後の世界情勢を基に理解している。	・戦後の日本の歩みについて、国内外の様子など様々な事象を関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代の日本がどのような特色を持つのかについて、現代の日本の歴史を大観し、その特色を多面的・多角的に考察している。	・現代の日本の特徴を理解しようと、現代の我々とのつながりに着目しながら、学習の見通しを立て、課題の解決に取り組もうとしている。
7	現代社会と私たち	現代社会の特色と私たち 私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え方	・現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について理解し、その知識を身に付けている。 ・現代社会を捉える見方・考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方があることに気づき、それらを理解している。 ・様々な写真や統計資料などから、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について読み取り、図表や短文などに適切にまとめている。	・現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について、地理的分野や歴史的分野の学習内容や、それぞれの事象の位置や空間的な広がり、推移や変化、相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について、身近な生活と関連付けて捉えたり、対立と合意、効率と公正の見方・考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。	・現代社会の特色や日本の伝統や文化に対する興味・関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちはその中でどのように生きていくべきかなどについて、意欲的に考えている。 ・現代社会を捉える見方・考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深めている。
評価方法			定期テスト、その他のテスト 授業での取り組み 授業の振り返り	定期テスト、その他のテスト 授業での取り組み 授業の振り返り	授業での取り組み、授業の振り返り、発表、班活動の様子、提出物の内容

学習の進め方

〈グループ学習〉

・課題にしっかりと取り組み、分からないことは班の仲間に聞く。

・班の仲間に質問されたことを相手が分かるように丁寧に伝える。

・ふり返りシートに振り返りがまとめられる。

〈家庭学習・テスト勉強〉

・社会的な事象に関心を持ち、授業で学習した内容との関連を見出す。

・ファイルに綴じた振り返りを確認する。

・ワークで学習した範囲を復習する。

・単元のまとめテストにしっかり取り組む。

・単元テストも定期テストの範囲となるので、テスト前に復習しておく。